

全段連 第四次環境自主行動計画（温暖化対策） 2023 年度実績フォローアップ調査結果

2024 年 7 月 30 日
全国段ボール工業組合連合会

全国段ボール工業組合連合会は、2021 年 12 月に第四次環境自主行動計画（温暖化対策）を策定し公表致しました。本年 5 月に自主行動計画参加企業に対して 2023 年度実績の調査を実施しましたので、その結果を報告致します。

<計画>

CO₂ 総排出量を 2006 年度～2008 年度の 3 年間平均に対し、2025 年度で 23%、2030 年度で 30%削減※する。※2030 年度の目標値は 2025 年度にレビューを行う

<実績>

() 内は基準年度比

		基準年度	目 標	前年度実績	実 績	2030年度 目標
		2006～2008 年度平均	2025年度	2022年度	2023年度	
貼合生産量	百万㎡/年	9,266	10,052 (108.5%)	10,390 (112.1%)	10,015 (108.1%)	10,052 (108.5%)
CO ₂ 総排出量	t-CO ₂ /年	589,024	454,721 (77%)	480,277 (81.5%)	458,839 (77.9%)	411,935 (70%)
CO ₂ 削減量※1	t-CO ₂ /年	—	134,303	108,747	130,185	177,089
CO ₂ 削減率	%	—	23	18.5	22.1	30
CO ₂ 排出原単位 ※2	kg-CO ₂ /千㎡	63.57	45.24 (71.2%)	46.22 (72.7%)	45.82 (72.1%)	40.98 (64.5%)
原単位削減率	%	—	28.8	27.3	27.9	35.5

※1：基準年度に対する計画年度毎の削減量。※2：CO₂ 総排出量を貼合生産量で割った値。

※3：自主行動計画参加企業数変更の為、各数値が前年公表値と変わっています。

- ・自主行動計画参加企業数：55 社
- ・全国段ボール生産量に対するカバー率：68.7%（2023 年度）

<2023 年度実績の調査結果について>

2023 年度の参加 55 社の CO₂ 総排出量は、前年度より 21,438t-CO₂/年（4.5%）減少となった。貼合生産量は、375 百万㎡（3.6%）減少した。一方で、CO₂ 排出原単位は 0.4 kg-CO₂/千㎡減少し、0.6 ポイント改善した。再生可能エネルギー由来電力への転換（非化石証書の購入、PPA※、自己投資型太陽光発電）、ボイラの燃料転換や高効率化の推進、LED やリフトの電化等の省エネ設備の導入、更にはコルゲータ、製函設備更新等による生産効率の向上等が改善に貢献した。

第四次計画は、政府が掲げる温室効果ガスの 2030 年度削減率 46%削減計画における産業部門の削減率 38%を念頭に、組合員企業が自らの努力で達成の可能性がある目標値を設定した。基準年度から CO₂ 排出原単位削減率は 27.9%と改善が進んでおり、CO₂ 総排出量の CO₂ 削減率は 22.1%という結果となっている。2025 年度 CO₂ 削減率目標 23%に対しては残り 0.9 ポイントとなり、前倒しでの達成が期待でき、業界全体で第五次計画 2030 年度目標 30%の更なる上乗せを目指す為にも、スコープ 3 を意識した温室効果ガス削減に継続し取り組む必要がある。

※Power Purchase Agreement の略、電力購入契約の意味

以上